

平成22年7月期 第1四半期決算短信

平成21年11月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアシーク
 コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年12月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 西尾 直紀
 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-3224-3113

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年7月期第1四半期の連結業績(平成21年8月1日～平成21年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年7月期第1四半期	458	△4.0	△26	—	△56	—	△50	—
21年7月期第1四半期	477	—	△17	—	△59	—	△54	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年7月期第1四半期	△521.39	—
21年7月期第1四半期	△557.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年7月期第1四半期	2,167	1,779	81.6	18,244.43
21年7月期	2,135	1,827	85.5	18,821.36

(参考) 自己資本 22年7月期第1四半期 1,769百万円 21年7月期 1,825百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年7月期	—	0.00	—	100.00	100.00
22年7月期	—	—	—	—	—
22年7月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年7月期の連結業績予想(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	963	△10.3	2	△94.8	△26	—	△28	—	△288.71
通期	2,166	6.3	116	615.1	65	11.7	39	△7.2	402.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年7月期第1四半期	97,215株	21年7月期	97,215株
② 期末自己株式数	22年7月期第1四半期	233株	21年7月期	233株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年7月期第1四半期	96,982株	21年7月期第1四半期	96,982株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、4ページ定性的情報・財務諸表等「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の悪化に底打ちの兆しが見られるものの、依然として、企業収益の低下や雇用情勢の悪化等、厳しい状況が続いております。

当社グループは、コンテンツ事業において、アンディ・ウォーホルのきせかえコンテンツの提供など、携帯電話向け有料コンテンツ配信サービスの強化・拡大を行いました。また、サービス開発事業において、携帯電話向けバーコードリーダーほかモバイル機器向けソフトウェアのライセンス販売を行ったほか、システムコンサルティング事業において、主に既存クライアント向けのシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、458,209千円(前年同期比4.0%減)、営業損失は、26,835千円(前年同期は、17,085千円の営業損失)、経常損失は、56,183千円(前年同期は、59,363千円の経常損失)、四半期純損失は、50,565千円(前年同期は、54,029千円の四半期純損失)となりました。

(サービス開発事業)

サービス開発事業においては、携帯電話組込み型バーコードリーダーを中心に、主要な携帯電話メーカーや通信事業者、情報サービス事業者等に対し、アプリケーションソフトウェアのライセンス販売を行いました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、40,464千円(前年同期比7.1%減)、営業利益は、3,424千円(前年同期比71.0%減)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業においては、既存サイトのリニューアルのほか、ポップアートの巨匠アンディ・ウォーホルのきせかえコンテンツの提供、「密着コミック24時」等新規サイトの立ち上げ等、携帯電話向け有料コンテンツ配信サービスの強化・拡大を実施しました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、297,893千円(前年同期比15.6%増)、営業利益は、39,718千円(前年同期比7.4%減)となりました。

(システムコンサルティング事業)

システムコンサルティング事業においては、主に既存クライアントに対し新たなシステムコンサルティングサービスを提供しました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、119,851千円(前年同期比32.0%減)、営業利益は、6,905千円(前年同期比37.3%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,167,320千円(前連結会計年度末から31,783千円の増加)となりました。

このうち、流動資産は、1,632,339千円(前連結会計年度末から306,812千円の増加)となりました。これは、主として現金及び預金が324,185千円増加したことによるものです。

固定資産は、534,981千円(前連結会計年度末から275,029千円の減少)となりました。これは、主として投資有価証券が287,965千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、387,344千円(前連結会計年度末から79,392千円の増加)となりました。これは、主として連結子会社の経営安定化のため、市中銀行より資金を借入れたため、長期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金が79,333千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,779,976千円(前連結会計年度末から47,609千円の減少)となりました。これは、主として第1四半期純損失を計上したこと及び配当金を支払ったことにより利益剰余金が60,263千円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、期首に比べ324,185千円増加し、1,164,860千円(前連結会計年度末は、840,674千円)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,941千円の支出(前年同期は、44,358千円の支出)となりました。これは、主として法人税等を46,721千円支払ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、257,769千円の収入(前年同期は、14,273千円の支出)となりました。これは、主として投資有価証券を358,765千円売却したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、74,608千円の収入(前年同期は、6,120千円の支出)となりました。これは、主として連結子会社の経営安定化のため、市中銀行より80,000千円の長期借入金を調達したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成21年9月14日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

①工事契約に関する会計基準の適用

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結累計期間に着手した契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については、工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間においては、工事進行基準を適用すべき取引が存在しなかったため、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の売上高及び損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,164,860	840,674
売掛金	414,767	442,187
商品	8,688	6,364
仕掛品	6,848	6,159
その他	48,045	40,220
貸倒引当金	△10,870	△10,080
流動資産合計	1,632,339	1,325,526
固定資産		
有形固定資産	44,290	39,493
無形固定資産		
のれん	20,951	14,072
その他	14,386	9,663
無形固定資産合計	35,337	23,736
投資その他の資産		
投資有価証券	253,492	541,457
その他	228,360	231,822
貸倒引当金	△26,500	△26,500
投資その他の資産合計	455,353	746,780
固定資産合計	534,981	810,011
資産合計	2,167,320	2,135,537
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,189	154,834
1年内返済予定の長期借入金	8,004	—
未払法人税等	1,630	49,622
ポイント引当金	492	505
事業整理損失引当金	14,243	18,738
その他	115,845	83,625
流動負債合計	315,406	307,326
固定負債		
長期借入金	71,329	—
退職給付引当金	609	624
固定負債合計	71,938	624
負債合計	387,344	307,951

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	814,962
資本剰余金	948,203	948,203
利益剰余金	98,930	159,194
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,822,417	1,882,681
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△48,472	△54,168
為替換算調整勘定	△4,564	△3,179
評価・換算差額等合計	△53,037	△57,348
少数株主持分	10,595	2,252
純資産合計	1,779,976	1,827,586
負債純資産合計	2,167,320	2,135,537

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
売上高	477,533	458,209
売上原価	343,592	352,184
売上総利益	133,940	106,025
販売費及び一般管理費	151,026	132,860
営業損失(△)	△17,085	△26,835
営業外収益		
受取利息	10	321
受取配当金	78	—
投資有価証券売却益	—	527
貴金属地金売却益	—	7,124
その他	116	55
営業外収益合計	206	8,029
営業外費用		
支払利息	11	368
複合金融商品評価損	42,380	—
投資有価証券売却損	—	31,128
その他	93	5,880
営業外費用合計	42,484	37,377
経常損失(△)	△59,363	△56,183
特別利益		
ポイント引当金戻入額	95	12
特別利益合計	95	12
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,268	△56,170
法人税、住民税及び事業税	512	663
法人税等調整額	1,842	△4,986
法人税等合計	2,355	△4,323
少数株主損失(△)	△7,594	△1,282
四半期純損失(△)	△54,029	△50,565

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,268	△56,170
減価償却費	6,606	5,542
のれん償却額	3,809	2,038
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△56	790
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	△12
受取利息及び受取配当金	△89	△321
支払利息	11	368
投資有価証券売却損益(△は益)	—	30,600
複合金融商品評価損益(△は益)	42,380	1,907
貴金属地金売却損益(△は益)	—	△7,124
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,021
為替差損益(△は益)	237	3,419
売上債権の増減額(△は増加)	31,063	27,193
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,869	△3,013
前渡金の増減額(△は増加)	△242	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,628	19,826
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,210	△6,198
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,454	△2,100
その他の資産の増減額(△は増加)	1,425	△4,895
その他の負債の増減額(△は減少)	23,873	28,956
小計	△41,411	41,827
利息及び配当金の受取額	89	321
利息の支払額	△11	△368
法人税等の支払額	△3,025	△46,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	△44,358	△4,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,233	△9,609
無形固定資産の取得による支出	△2,773	△5,515
貴金属地金の取得による支出	—	△352,000
貴金属地金の売却による収入	—	359,124
投資有価証券の取得による支出	—	△94,724
投資有価証券の売却による収入	2,283	358,765
敷金及び保証金の差入による支出	△549	△2
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,731
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,273	257,769

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	—	△667
配当金の支払額	△6,120	△4,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,120	74,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154	△3,252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△64,907	324,185
現金及び現金同等物の期首残高	617,026	840,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	552,118	1,164,860

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

(単位:千円)

	サービス開発事業	コンテンツ事業	システムコンサルティング事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	43,572	257,765	176,195	477,553	—	477,533
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9	14,196	14,205	(14,205)	—
計	43,572	257,774	190,392	491,739	(14,205)	477,533
営業利益又は営業損失(△)	11,824	42,879	5,027	59,731	(76,817)	△17,085

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品・役務

- (1) サービス開発事業・・・携帯電話ほかモバイル機器向け組込み型ソフトウェア(例:バーコードリーダー)の企画・開発及びライセンス販売
- (2) コンテンツ事業・・・携帯電話向け有料コンテンツ(例:着メロほか)配信サービス
- (3) システムコンサルティング事業・・・企業向け戦略コンサルティング、システムコンサルティング及びシステム運用支援サービス

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)

(単位:千円)

	サービス開発事業	コンテンツ事業	システムコンサルティング事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	40,464	297,893	119,851	458,209	—	458,209
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	18,792	18,792	(18,792)	—
計	40,464	297,893	138,643	477,001	(18,792)	458,209
営業利益又は営業損失(△)	3,424	39,718	6,905	50,048	(76,884)	△26,835

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品・役務

- (1) サービス開発事業・・・携帯電話ほかモバイル機器向け組込み型ソフトウェア(例:バーコードリーダー)の企画・開発及びライセンス販売
- (2) コンテンツ事業・・・携帯電話向け有料コンテンツ(例:着メロほか)配信サービス
- (3) システムコンサルティング事業・・・企業向け戦略コンサルティング、システムコンサルティング及びシステム運用支援サービス

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。